

福井県立大学 永平寺キャンパス図書館棟 外壁改修工事

図面番号	図面名		図面番号	図面名	
A－0	表紙・図面リスト		A－14	矩計図 2	
A－1	建築改修工事特記仕様書（その１）		A－15	矩計図 3	
A－2	建築改修工事特記仕様書（その２）		A－16	建具配置図 1	
A－3	建築改修工事特記仕様書（その３）		A－17	建具配置図 2	
A－4	建築改修工事特記仕様書（その４）		A－18	建具リスト 1	
A－5	建築改修工事特記仕様書（その５）		A－19	建具リスト 2	
A－6	建築改修工事特記仕様書（その６）		A－20	建具リスト 3	
A－7	附近見取図・配置図		A－21	部分詳細図 1	
A－8	面積表		A－22	部分詳細図 2	
A－9	1階平面図		A－23	平面詳細図 1	
A－10	2階・屋上平面図		A－24	平面詳細図 2	
A－11	西側・南側立面図		A－25	平面詳細図 3	
A－12	東側・北側立面図		A－26	平面詳細図 4	
A－13	矩計図 1				

[illegible]

[illegible]

8-8

耐震スリット新設工事

1. スリットの種類

耐震スリットの種類および形状
完全スリットの形状

記号

一般型

一面せん断型

備考

形状

※図示

※図示

幅W (mm)

※図示

※図示

既存鉄筋の処理

・既存鉄筋はつり出し・切断してよい

・切断してよい

部分スリットの形状

片側スリット

両側スリット

備考

記号

※図示

※図示

幅W (mm)

※図示

※図示

目地部の残存厚さts (mm)

・壁厚の1/2以下かつ70mm以下

・壁厚の1/2以下かつ70mm以下

既存鉄筋の処理

・存置する・既存鉄筋はつり出し・切断してよい

・存置する・切断してよい

2. スリットの施工

スリット部の配管等の調査
範囲 ※スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去の範囲全て
方法 ※鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う
・はつり出しによる
スリットののげ位置
壁上部部 梁との接合部
壁の柱きわ部 柱の仕上げを越えたきわ部
壁下部部 床仕上げ上部 床躯体上部

8-9

免震・制振改修工事

1. 材料および性能確認試験

※図示

[8. 26. 7] [8. 27. 4]

2. 免震材料または減衰材の設置

別置の免震材料または減衰材の種類、形状、寸法、数量および設置条件
※図示 ・設置しない

[8. 26. 10] [8. 27. 6]

3. 既存構造体との取合い

※図示
改修標準仕様書9. 19. 6による（割裂補強筋の適用 ・有 ・無）

[8. 26. 10] [8. 27. 6]

4. 設置後の仕上げ

※図示

[8. 26. 13] [8. 27. 8]

5. 耐火被覆

免震支承材への耐火被覆の適用 ・有（仕様 ※図示） ・無

[8. 26. 14]

6. 免震エキスパンションジョイント

※図示

[8. 26. 15]

7. 検査

検査項目および数量 ※図示

[8. 26. 16] [8. 27. 9]

8-10

基礎工事

1. 一般事項

本工事の基礎杭工事は、「基礎ぐい工事における工事監理ガイドライン」（H28. 3. 4国土交通省策定）による監理を行う。また、杭ごとに電流計データの写真を監督職員に提出する。

[8. 28. 2]

2. 既存杭の撤去等

既存杭の撤去範囲および撤去方法 ※図示
既存杭の杭頭部処理 ・行う（ ） ・行わない
既存杭の補強 ・行う（ ・図示 ） ・行わない
既存杭の健全性確認試験 ・行う（ ） ・行わない

[8. 28. 2]

3. 埋戻しおよび盛土

埋戻しおよび盛土の種類 （ ・A種 ・B種 ・C種 ・D種）

[8. 28. 3]

4. 山留めの存置

存置範囲 ※図示

[8. 28. 3]

5. 杭地業

・既製コンクリート杭地業／鋼杭地業
種類 ※PHC杭 ・PRC杭 ・SC杭 ・鋼杭 （ ・SKK400 ・SKK490）
寸法および継手
試験杭
杭径 (mm) 杭長 (m) 及び種類 継手数 セット数 長期支持力 (kN/セット)
本杭
杭頭の切断方法 ※ダイヤモンドカッター
杭継手工法 ・溶接継手 ・無溶接継手（評定等受けた工法）
先端部形状 ※開放型 ・閉そく平たん型
施工方法
※特定埋込杭工法
・フレポーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
国土交通省告示第113号第6に定める地盤の許容支持力値の内
α、β、γが下記の値をとれる工法とする
α=（ ）、β=（ ）、γ=（ ）
杭周固定液 ・使用する ・使用しない
・打込み工法
※フレポーリング併用打撃工法
フレポーリングの掘削深さ及び径 深さ（ ）m 径（ ）
推定支持力の算定方法 ・R=π/（5S+0. 1）kN/セット
・セメントミルク工法
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ※図示
杭の支持地盤への掘入れ深さ ※図示
杭打種の種類
※3点支持式クローラクレーン
杭の精度 ・水平方向の位置ずれ mm以下 ・杭の傾斜 1/100以内
支持地盤 ※図示 ・SGL- m（種類）
杭の載荷試験 ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験
試験の方法、報告書の記載事項等は「敷地調査共通仕様書」による。
地盤の載荷試験
試験位置（ヶ所） ・図示 試験深さ (m) ・設計値より（ ）m
試験対象土質（ ） 最大荷重 (t) （ ）
試験の方法は「敷地調査共通仕様書」4章9節による。
・その他の杭地業（ ） ※詳細は図示

[8. 28. 4]

6. 砂利地業

厚さ ※6 0 mm
※再生クラッシュラン [G] 図 ・切込み砂利及び切込み砕石
（含有物については（2 2・3・3 (b) による）

[8. 28. 4]

7. 捨てコンクリート地業

厚さ ※5 0 mm

[8. 28. 4]

9

環境配慮改修工事

1. 一般事項

関係法令等の遵守
大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則（以下石綿則）
特定化学物質等障害予防規則、廃棄物の処理および清掃に関する法律（以下廃掃法）
福井県アスベストによる健康被害の防止に関する条例
既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説
建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説
施工調査
※アスベスト含有建材の有無
目視、および既存資料による製造年等の確認
・建材中の石綿含有率の分析
分析方法
・JIS A 1481-2 または JIS A 1481-3による
分析結果については、監督職員に報告すること。
採取箇所は図示
アスベスト粉じん濃度測定
・行う（石綿含有率5質量%超）
測定室（ ）
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工箇所ごと） 備考
・測定1 処理作業前 処理作業室 各2点～5点 (注) 1
・測定2 調査対象室外部の付近 計2点 大気
・測定3 処理作業室内 各2点～5点 (注) 1
・測定4 処理作業中 負圧・除じん装置の出口吹出し風速1m/sec以下の位置 各2点
・測定5 処理作業室外（敷地境界） 4方向各1点
・測定6 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 各2点
・測定7 処理作業後シート撤去後1週間以降 処理作業室内 各2点～5点 (注) 1
・測定8 調査対象室外部の付近 計2点 大気
(注) 1 各施工箇所ごとの作業室面積が5 0 m2以下では2点、3 0 0 m2以下では3点、1 0 0 0 m2以下までは4点、1 0 0 0 m2を超えるものは5点とする。
・行う（石綿含有率5質量%以下）
測定室（ ）
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工箇所ごと） 備考
・測定1 処理作業前 処理作業室 各1点
・測定2 調査対象室外部の付近 計1点 大気
・測定3 処理作業室内 各1点
・測定4 処理作業中 負圧・除じん装置の排出吹出し口 各1点
・測定5 処理作業室外（敷地境界） 計1点
・測定6 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 各1点
・測定7 処理作業後シート撤去後1週間以降 処理作業室内 各1点
・測定8 調査対象室外部の付近 計2点 大気
アスベスト粉じん濃度測定方法
名称 測定3 測定1, 2, 4, 6, 7, 8 測定5
計数機器 位相差顕微鏡
メンブレンフィルタの直径 2 5 mm 4 7 mm
試料の吸引流速 1 l/min 5 l/min 1 0 l/min
試料の吸引時間 5 min 1 2 0 min 2 4 0 min
試料の透明化 アセトニートリアセチン法またはシウ酸ジエチル法
計数条件 総アスベスト繊維数2 0 0本または視野数5 0視野
計数アスベスト 直径3 μm未満、長さ5 μm以上、長さと直径比3 : 1以上
定量限界 5 0 f/l 0. 5 f/l 0. 3 f/l
処理を行う吹付けアスベストの仕様等
材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲
処理工法 [9. 1. 1] [9. 1. 3]
※除去工法（固形化 ・行う）
・封じ込め工法
劣化の著しい部分、地下との接着が不良な部分については改修標準仕様書9. 1. 3により除去し、粉じん飛散防止処理剤を用いて封じ込め処理を行う
封じ込めの工法は施工業者の仕様により、除去物および汚染物質の処理等は改修標準仕様書9. 1. 3 (b) (2) による
なお、施工にあたっては、改修標準仕様書9. 1. 2除去工事共通事項を適用する。
・囲い込み処理
施工調査等 ※行う
専門工事業者が工事に相応した技術を有することを証明する資料 [9. 1. 2 a]
「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術」（民間開発建設技術の技術審査・証明事業認定規定）の証明書または、同等の技術を有することを証明する資料（監指）
石綿作業主任者
石綿障害予防規則に基づき、石綿作業主任者の選定を行う。なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
除去作業者
1. 施工業者より下記の科目について、アスベスト処理に関する衛生のための特別の教育を受けていること。（石綿則）
イ 石綿等の有害性
ロ 石綿等の使用状況
ハ 石綿等の粉じんの発散を抑制するための措置
ニ 保護具の使用法
ホ 前各号に掲げるもののほか、石綿等のごる露防止に関し必要な事項
2. 以下の健康診断を受診し、診断の結果、肺機能に異常がない者とする。
イ 労働安全衛生法に基づく一般健康診断（1年以内に受診）
ロ 石綿障害予防規則に基づく特殊健康診断（6か月以内に受診）
ハ じん肺法に基づくじん肺健康診断（3年以内に受診）

3. アスベスト含有保温材等の除去

処理を行うアスベスト保温材等の仕様等
材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲
施工調査等 ※行う
アスベスト粉じん濃度測定 ※行わない ・行う
石綿作業主任者
石綿障害予防規則に基づき、石綿作業主任者の選定を行う。なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材等については、排出事業者は特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選択し管理させる。
官公署その他への手続き
1. 労働安全衛生法の工事計画届（労働基準監督署）
2. 石綿障害予防規則の作業届（労働基準監督署）
3. 大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届（知事）
4. アスベスト排出等作業等完了届出書（知事）→県条例
除去物および汚染物等の処分等
保温材等については、改修標準仕様書9. 1. 3 (a) による。
アスベスト含有建材除去後の仕上げ
※図示
処理を行うアスベスト成形板の仕様等
材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲
施工調査等 ※行う
アスベスト粉じん濃度測定 ※行わない ・行う
石綿作業主任者
石綿障害予防規則に基づき、石綿作業主任者の選定を行う。なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
表示・掲示
改修標準仕様書9. 1. 2 (f) による表示・掲示を行う。
アスベスト含有建材除去後の仕上げ
※図示
埋戻しガラス
品類 断熱性 日射熱遮へ性 厚さ
・断熱複層ガラス
・ 1 類 U 1
・ 2 類 U 2
・ 3 類 U-3-1 ・ U-3-2
断熱材 [G]
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放数量 ※F☆☆☆☆

5. ガラス改修工事

施工計画書
施工計画書に下記事項についても記載する。（石綿則）
1. 作業の方法および手順
2. 石綿粉じんの発散を防止し、また制御する方法
3. 労働者への石綿粉じんのばく露を防止する方法
監9. 1. 2 (a) (ii) の①のその他必要な事項として下記の書類を添付する。
1. 石綿作業主任者が特定化学物質等作業主任者技術講習修了証の写し
2. 特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有することを証明する書類の写し
3. 委託する特別管理産業廃棄物処理業者の都道府県知事の許可書の写し
官公署その他への手続き
1. 労働安全衛生法の工事計画届（労働基準監督署）
2. 石綿障害予防規則の作業届（労働基準監督署）
3. 大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届（知事）
4. アスベスト排出等作業等完了届出書（知事）→県条例
アスベストの除去処理（密封処理） [9. 1. 3]
保管、表示（廃掃法）
アスベスト廃棄物は保管にあたって、他の廃棄物と分別する。アスベスト廃棄物を収納する袋等に、個々にアスベスト廃棄物である旨を表示する。
収集・運搬（廃掃法）
アスベスト廃棄物の収集・運搬にあたっては、他の廃棄物と混載してはならない。
廃棄物が飛散、流出しないように措置を講じる。
注）アスベスト廃棄物とは吹付けアスベスト除去物、仮設養生プラスチックシート、HEPAフィルター、プラスチック系特殊作業服、靴カバー、室内掃除用スポンジ等を含む。
最終処分
アスベスト廃棄物の最終処分は、埋立処分により行うこととし、都道府県知事に許可を受けた最終処分場で行う。
アスベスト含有建材除去後の仕上げ
※図示（耐火被覆および断熱材の除去後は、除去材料同等以上の性能の仕上材とする）

7. 屋上緑化改修工事

植栽基盤および材料 [9. 6. 1～3] [表9. 6. 1]
・屋上緑化軽量システム
芝および地被類の樹種ならびに種類等 ※ 図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1. 15 ・1. 3）倍の風圧力に対応した工法
かん入装置 ・設ける（別途機械設備工事による） ・設けない
既存保護層の撤去 ・行う
既設舗装の撤去 ・行う
既設舗装の再利用 ・行う
凍上抑制層 適用する ※適用しない [9. 7. 3] (22. 2. 2～3)
厚さ (mm) ・150
材料 ・
フィルター層 適用する ※適用しない
厚さ (mm) 車道部 ※150
歩道部 ※50
材料 ・
路床安定処理 適用する（方法 ・行う ※適用しない
砂の粒度試験 ・行う ※行わない
盛土用材料 [表9. 7. 1]
・A種 ※B種 [G] 図 ・C種 [G] 図 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] 図
ジオテキスタイル ・適用する ※適用しない
品質（ ） [9. 7. 3] (9. 2. 5)
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ※行わない
現場CBR試験 ・行う ※行わない
路床の締固め試験 ・行う ※行わない
発生土の処理
※構外搬出適切処理 ・構内指定場所に敷き均し [9. 7. 3]
・構内指定場所にたい積 ・構外指定場所に処分
受入施設名 受入場所 仮置場所 備考
路盤の種類 路盤の厚さ (cm) 路盤材料
車道部 歩道部
・アスファルト舗装 ・10 ・15 ・25 ・35 10 ※再生クラッシュラン [G]
・インターロッキングブロック舗装 ・10 ・15 ・25 10 ・クラッシュラン
・コンクリート平板舗装 - 10
透水性アスファルト舗装に用いる路盤材料は透水性の高いものとする
基層（車道部） ・適用する ※適用しない (22. 4. 2)
材料 アスファルト ・ストレートアスファルト ※再生アスファルト [G]
骨材 ・砕石 ※アスファルトコンクリート再生骨材 [G] (22. 4. 3)
加熱アスファルト混合物等の種類 (22. 4. 4) (表22. 4. 6)
表層 ※密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層 ※粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート ・適用する ※適用しない (22. 4. 5)
アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ※行わない (22. 4. 6)
舗装の平たん性 (22. 9. 2～22. 9. 3)
舗装の種類 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考
・コンクリート ※普通平板（N） ※300角 ※60 目地材
平板舗装 ・カラー平板（C） ・ 砂
・流出平板（W） ・モルタル
・縦石平板（S）
・インターロッキングブロック ※普通ブロック 車道部 ※ 8 0
・透水ブロック 歩道部 ※ 6 0
・植生ブロック ※80
・100
ジオテキスタイル ※適用しない ・適用する (22. 9. 3)
品質（ ）

13. 舗装の平たん性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

年度別

2 9

2 9 年 6 月

公立大学法人

福井県立大学

分

第一分類

第二分類

第三分類

審

審

株式会社

木村建築事務所

1 級建築士事務所 福井県 (L1) 115号
管理建築士 一般建築士 第167899号 木村重一

工事名称

福井県立大学 永平寺キャンパス図書館棟 外壁改修工事

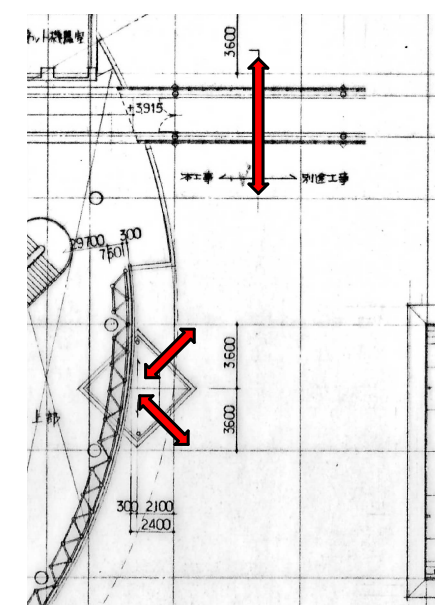
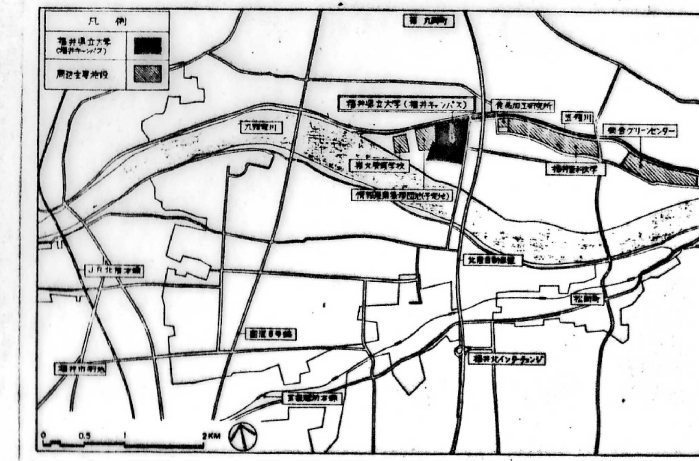
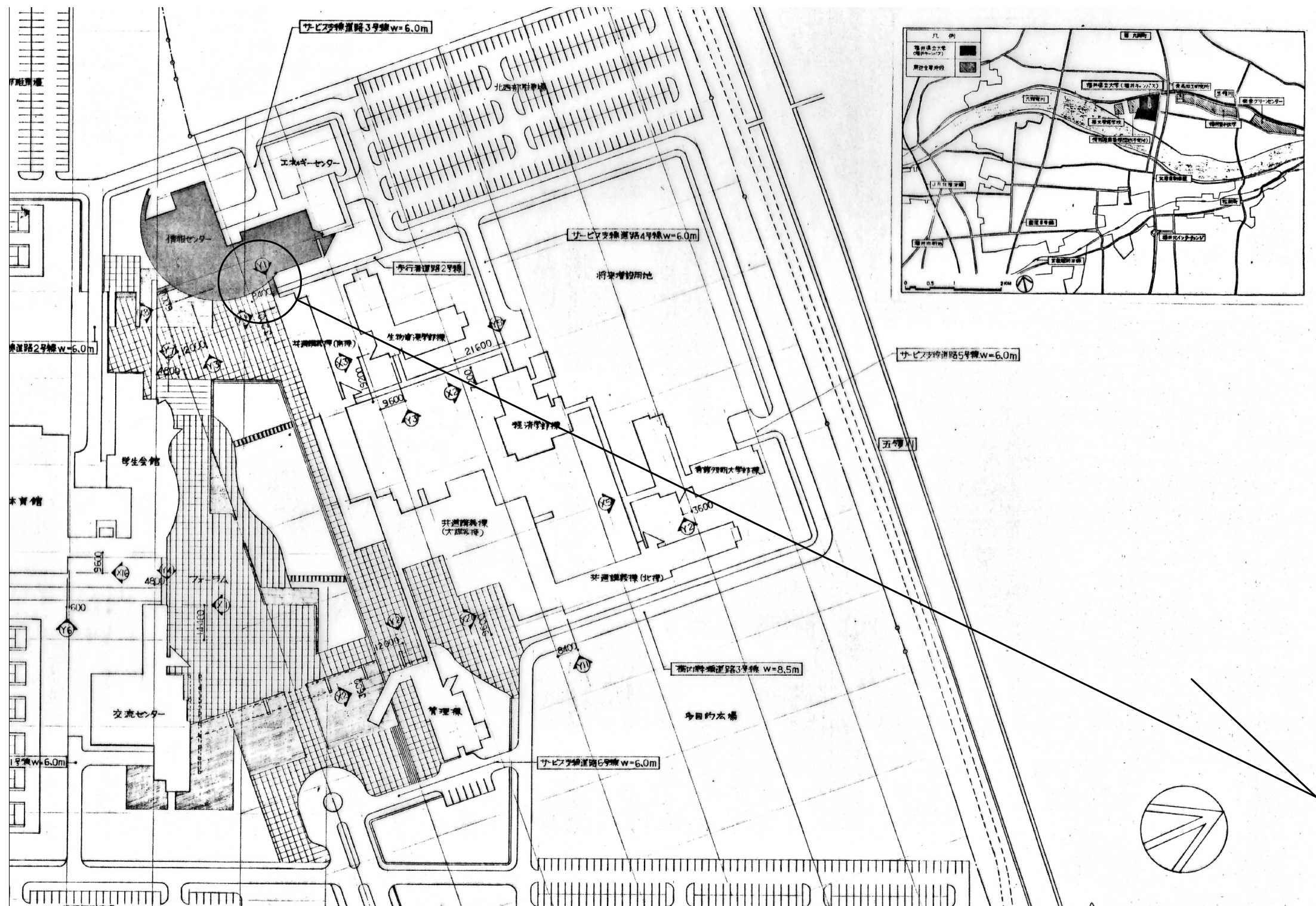
図面名称

建築改修工事特記仕様書（その6）

縮尺

図面番号

A-6



仮設計画

※図書館出入口と回廊(渡廊下)の出入りが出来る程度とする。

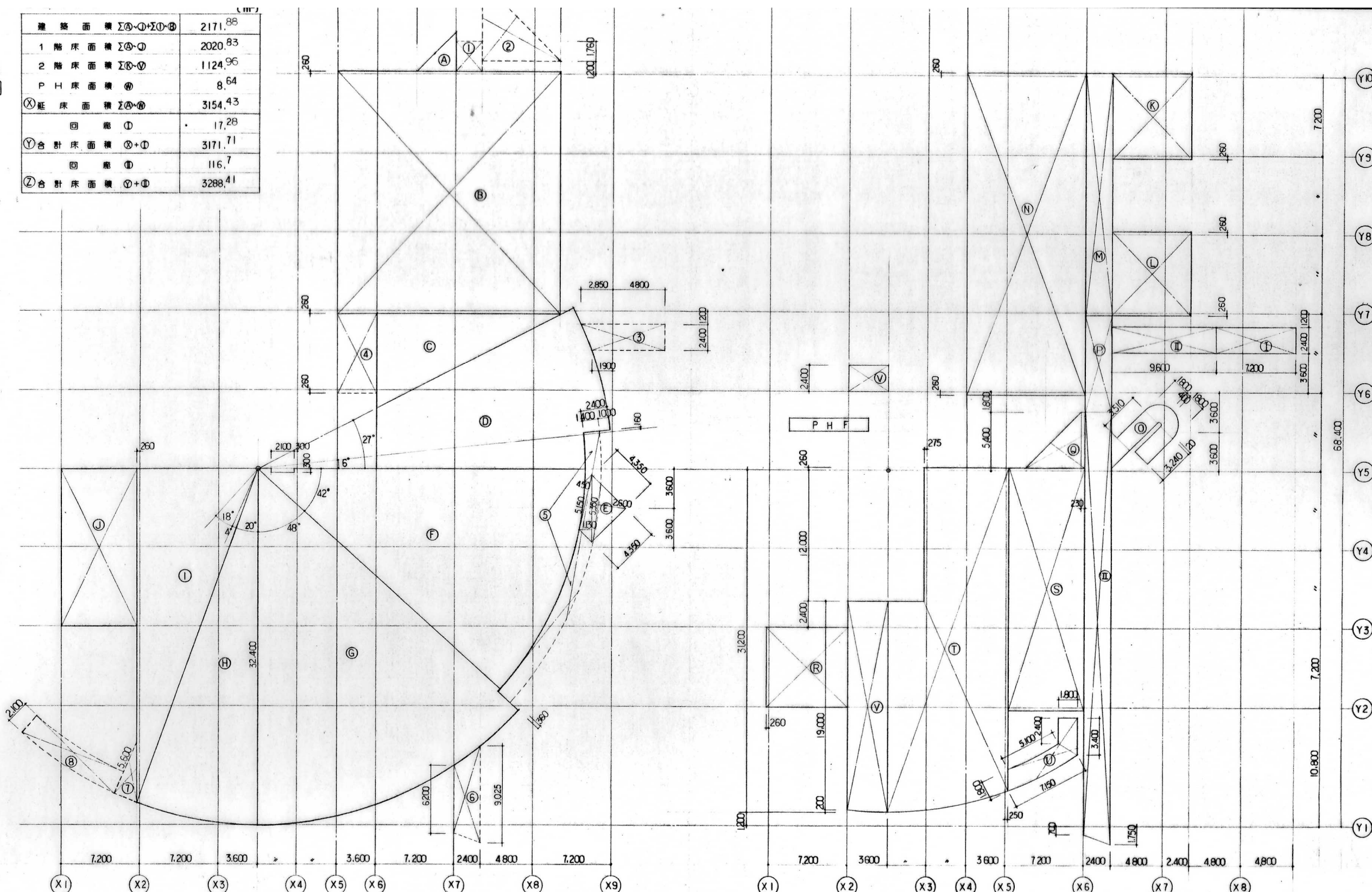
年度別 29 29年 6月	福井県立大学 第一分科 第二分科 第三分科 審 29年 6月	株式会社 木村建築事務所 1級建築士事務所 福井県 (い) 115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一	工事名称 福井県立大学 永平寺キャンパス図書館棟 外壁改修工事 図面名称 附近見取図・配置図	図面番号 A-7 縮尺
---------------------	--------------------------------------	--	---	-------------------

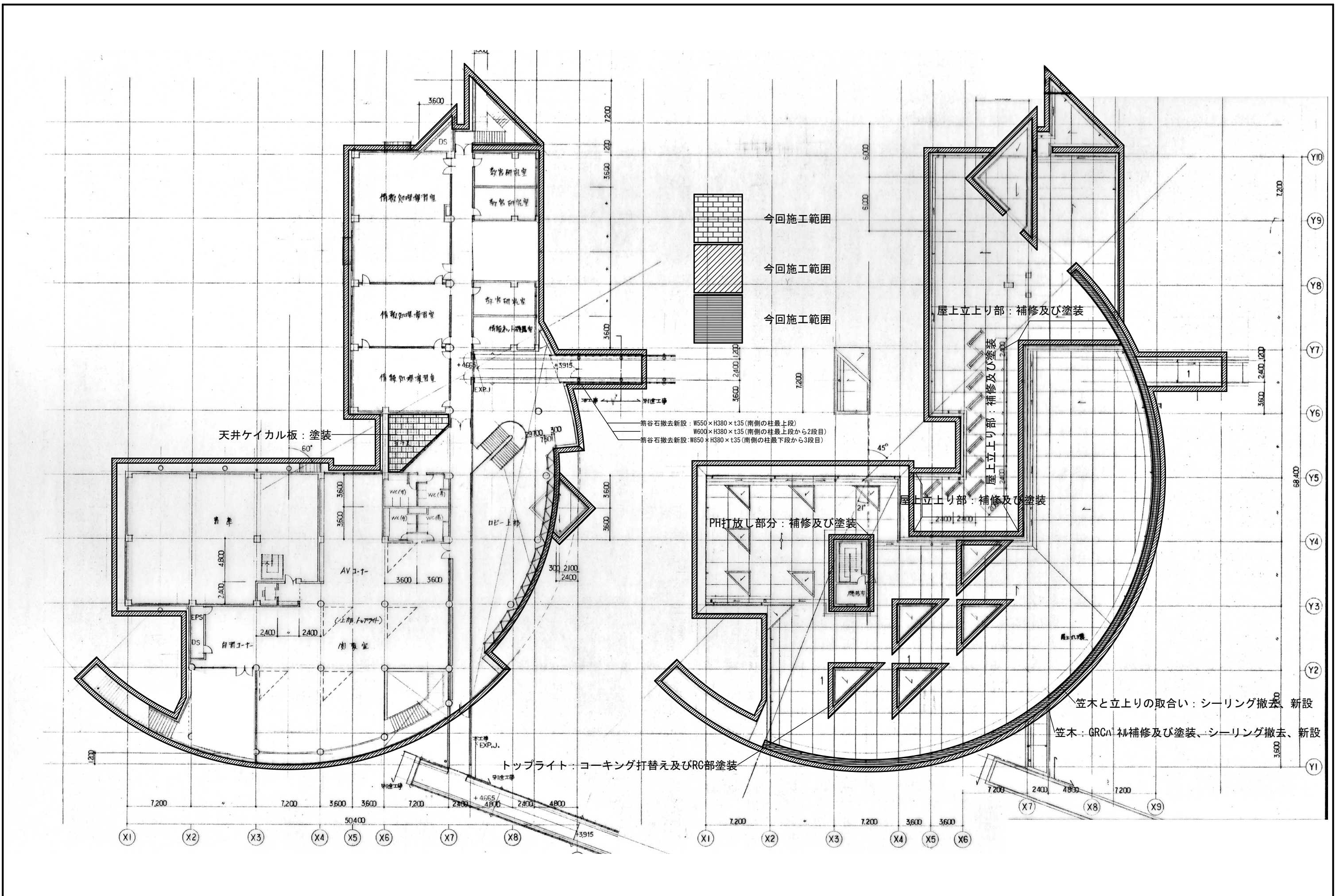
$$\begin{aligned} \text{ウ} & 3.6 \times 3.6 \times 1/2 = 6.48 \\ \text{B} & 20.4 \times (21.6 + 0.52) = 451.24 \\ \text{C} & 14.4 - (7.2 + 3.6) \tan 30^\circ \times \tan 30^\circ \times 1/2 = 73.22 \\ \text{D} & \pi \cdot 32.4^2 \times 30/360 - 10.8 \times 10.8 \cdot \tan 30^\circ \times 1/2 \\ & - [\pi \cdot 32.4^2 \times 6/360 - \pi \cdot (32.4 - 2.4)^2 \times 6/360] \\ & - 0.16 \times 2.4 = 209.40 \\ \text{E} & 4.35^2 \times 1/2 + 4.35 \cdot \sqrt{2} \times 1.13 \times 1/2 \\ & + 5.15 \times 0.45 \times 1/2 = 14.09 \\ \text{F} & \pi \cdot (32.4 - 2.4) \times 30/360 - 0.3 \times 2.1 \\ & = 376.36 \\ \text{G} & \pi \cdot 32.4^2 \times 48/360 - 0.36 \times 2.4 = 438.86 \\ \text{H} & \pi \cdot 32.4^2 \times 20/360 = 183.21 \\ \text{I} & (7.2 - 3.6 - 0.26)^2 \times 1/\tan 20^\circ \times 1/2 = 168.04 \\ \text{J} & 14.4 \times (7.2 - 0.26) = 99.93 \end{aligned}$$

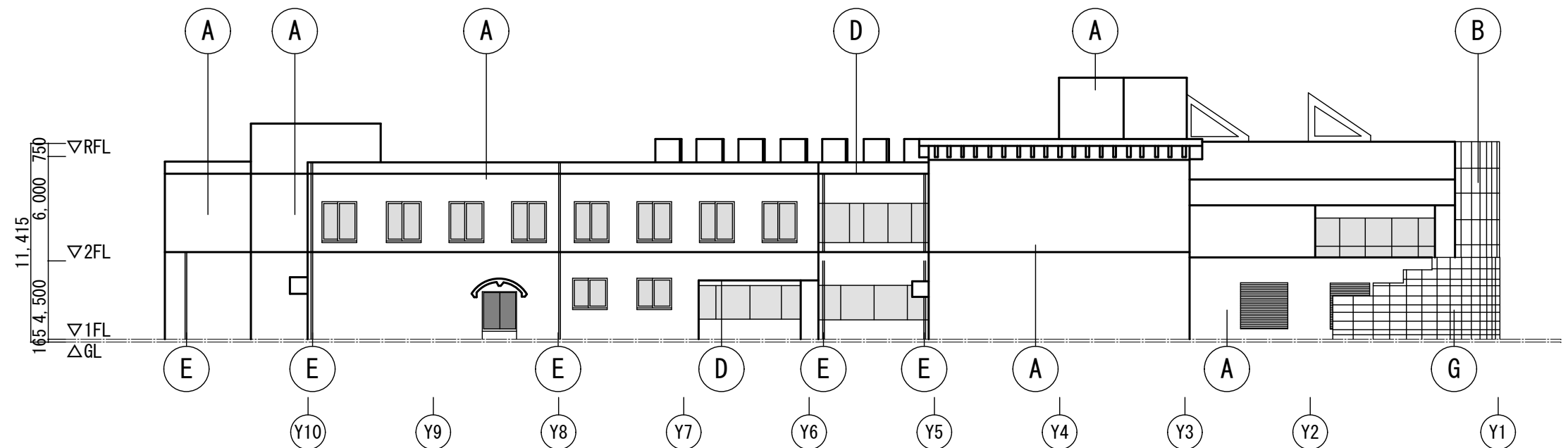
$$\begin{aligned} \text{①} & 2.7 \times 2.4 = 6.48 \\ \text{②} & 7.2 \times 7.2 \times 1/2 = 25.92 \\ \text{③} & (7.65 + 5.7) \times 1/2 \times 2.4 = 17.22 \\ \text{④} & 7.2 \times 3.6 = 25.92 \\ \text{⑤} & \pi (31.4^2 - 30^2) \times (31.4 \times 2 \times \pi \times 48/360 + 0.16 \\ & + 0.36) \times 1 / (31.4 \times 2 \times \pi) - (\text{E}) - 5.35 \\ & \times 2.6 \times 1/2 = 29.58 \\ \text{⑥} & (9.025 + 6.2) \times 1/2 \times 2.4 = 18.27 \\ \text{⑦} & 5.6 \times 5.6 \cdot \tan 24^\circ \times 1/2 = 6.98 \\ \text{⑧} & \pi \cdot (32.4^2 - 30.3^2) \times 18/360 = 20.68 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{K} & 7.72 \times 7.2 = 55.58 \\ \text{L} & 7.72 \times 7.2 = 55.58 \\ \text{M} & (7.2 \times 3 + 0.26 \times 2) \times 2.4 = 53.08 \\ \text{N} & (7.2 \times 4 + 0.26 + 0.26) \times (7.2 + 3.6) = 316.65 \\ \text{O} & (3.6 \sqrt{2} \times 1/2 - 0.2)^2 \times 1/2 + 3.51 \times 1.6 + \\ & 3.24 \times 1.6 + (1.8^2 \pi - 0.2^2 \pi) \times = 18.57 \\ \text{P} & (7.2 + 1.8 - 0.26) \times 2.4 = 20.97 \\ \text{Q} & (5.4 - 0.26) \times 0.23 + (5.4 - 0.26)^2 \times 1/2 = 14.85 \\ \text{R} & (7.2 + 0.26) \times 7.2 = 53.71 \\ \text{S} & (7.2 + 0.26) \times (7.2 \times 3 + 0.26 + 0.25) = 153.44 \\ \text{T} & (7.2 + 3.6 + 0.25)^2 \tan 21^\circ \times 1/2 + (31.2^2 \pi \times \\ & 21/360) - (3.6 + 0.275) \times 12.26 = 297.53 \\ \text{U} & [(3.4 + 2.4) + (7.15 + 5.1)] \times 1/2 \times 1.8 = 16.24 \\ \text{V} & (19.2 + 19.0) \times 1/2 \times 3.6 = 68.76 \\ \text{①} & 7.2 \times 2.4 = 17.28 \end{aligned}$$

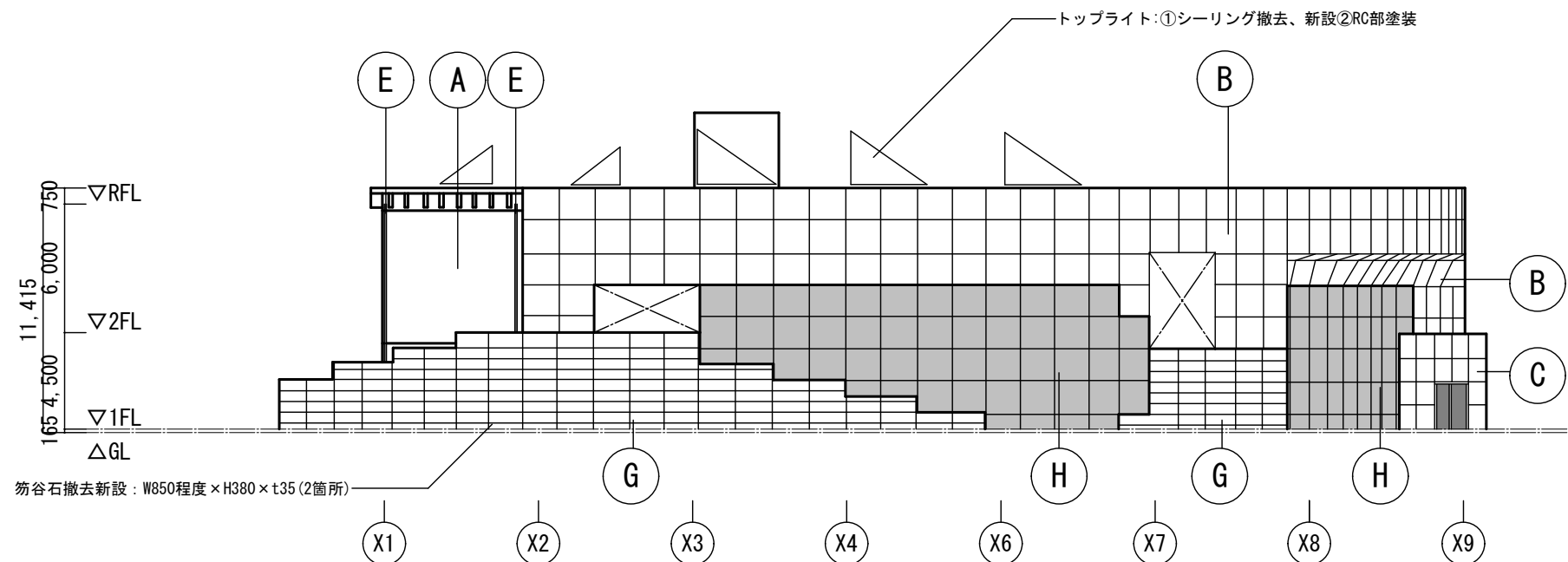
建築面積 Σ①~⑩+Σ⑪~⑮		2171.88
1階床面積 Σ①~⑩		2020.83
2階床面積 Σ⑪~⑮		1124.96
PH床面積 ⑯		8.64
⑪延床面積 Σ①~⑮		3154.43
回廊 ①		17.28
①合計床面積 ②+①		3171.71
回廊 ②		116.7
②合計床面積 ③+②		3288.41







西側立面図



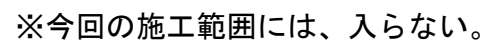
南側立面図

外 部 仕 上 表		
記 号	部 位	仕 様
Ⓐ	外壁打放し面	水洗い工法、養生、 塗装(ボンフロン水性AC-SR改修工法) 打継目地シーリング撤去、新設
Ⓑ	外壁GRCパネル面	水洗い工法、養生、 塗装(ボンフロンライトGT-HBC-SR) GRCパネル目地シーリング撤去、新設
Ⓒ	外壁アルミパネル面	水洗い工法、養生、 塗装(ボンフロンライトGTHBM-50SR) アルミパネル目地シーリング撤去、新設
Ⓓ	天井ケイカル面	塗装 (NAD系塗料)
Ⓔ	たて樋 (鋼管至鉛メッキ100φ)	塗装(ウレタン樹脂系塗料)
Ⓕ	外部階段手摺	塗装(ボンフロンライトGT-HBC-SR)
Ⓖ	笄谷石	笄谷石目地シーリング撤去、新設
Ⓗ	ACW	ACWガラス廻りシーリング*撤去、新設
	その他	サッシ、開口部廻りシーリング撤去、新設 ガラス廻りシーリング撤去、新設 SD, SSD枠共塗装(ファインウレタンU100)
外壁改修工法(参考工法)		参考数量
RC打放し部ひび割れ処理	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	250m
GRCパネルひび割れ処理	ボンドOGS工法	50m
工事着手前に請負業者は、外観目視・打診調査を行い監督員に報告する。 報告書を元に、協議の上、施工方法を決定のこと。		

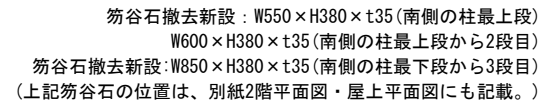
①図示した塗装工法は、参考工法とする。
②AW, ACW, AGは、施工後、清掃する。

②AW, ACW, AGIは、施工後、清掃する。

年度別 29	福井県立大学					 株式会社 木村建築事務所 1級建築士事務所 福井県（い）115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一	工事名称 福井県立大学 永平寺キャンパス図書館棟 外壁改修工事		図面番号 A-11	
	分類 29年 6月	第一分額	第二分額	第三分額	審査		設計	図面名称 西側・南側立面図		縮尺



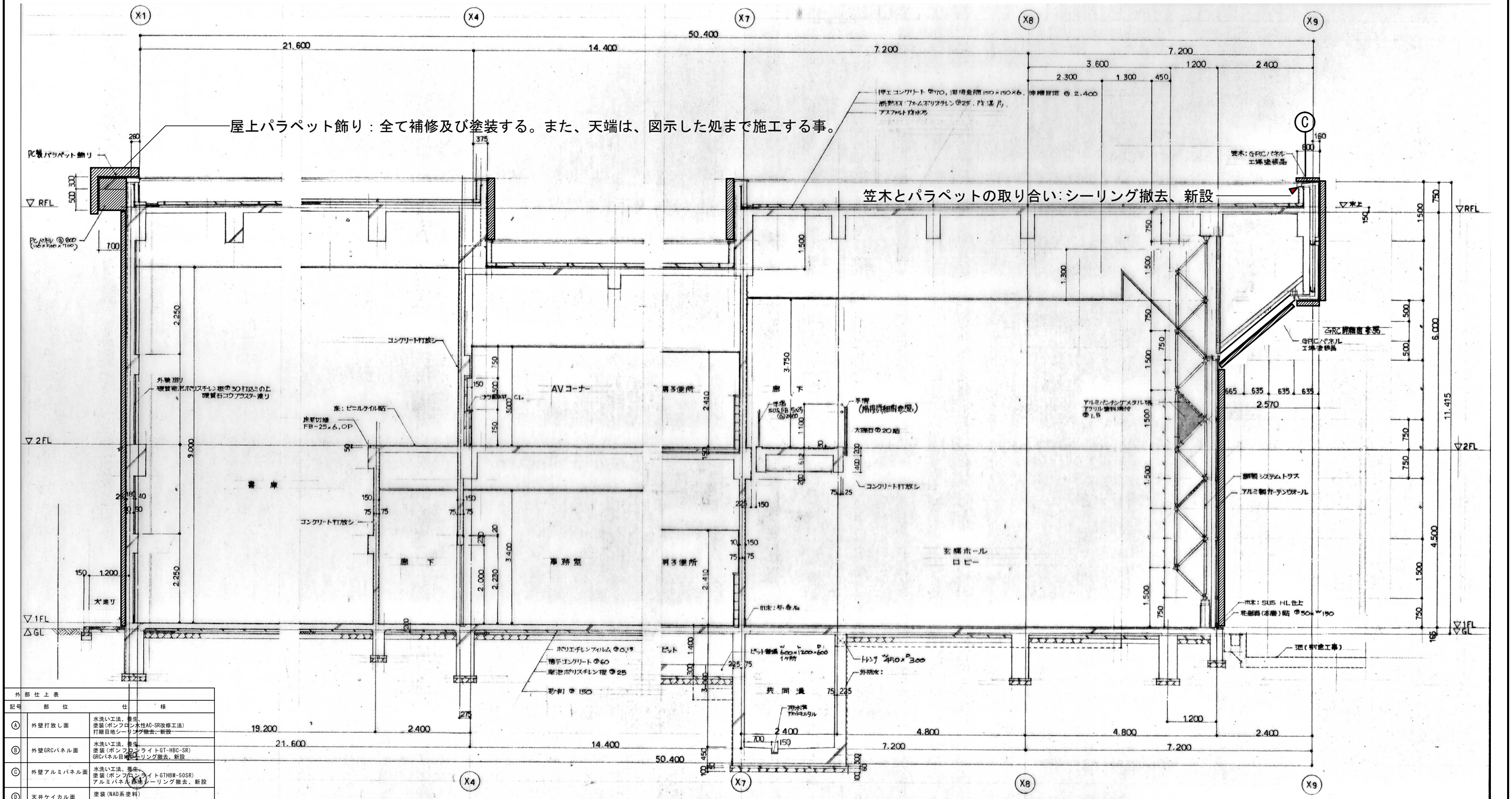
東側立面図



北側立面図

外壁改修工法(参考工法)		参考数量
RC打放し部ひび割れ処理	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	250m
GRCパネルひび割れ処理	ボンドOGS工法	50m

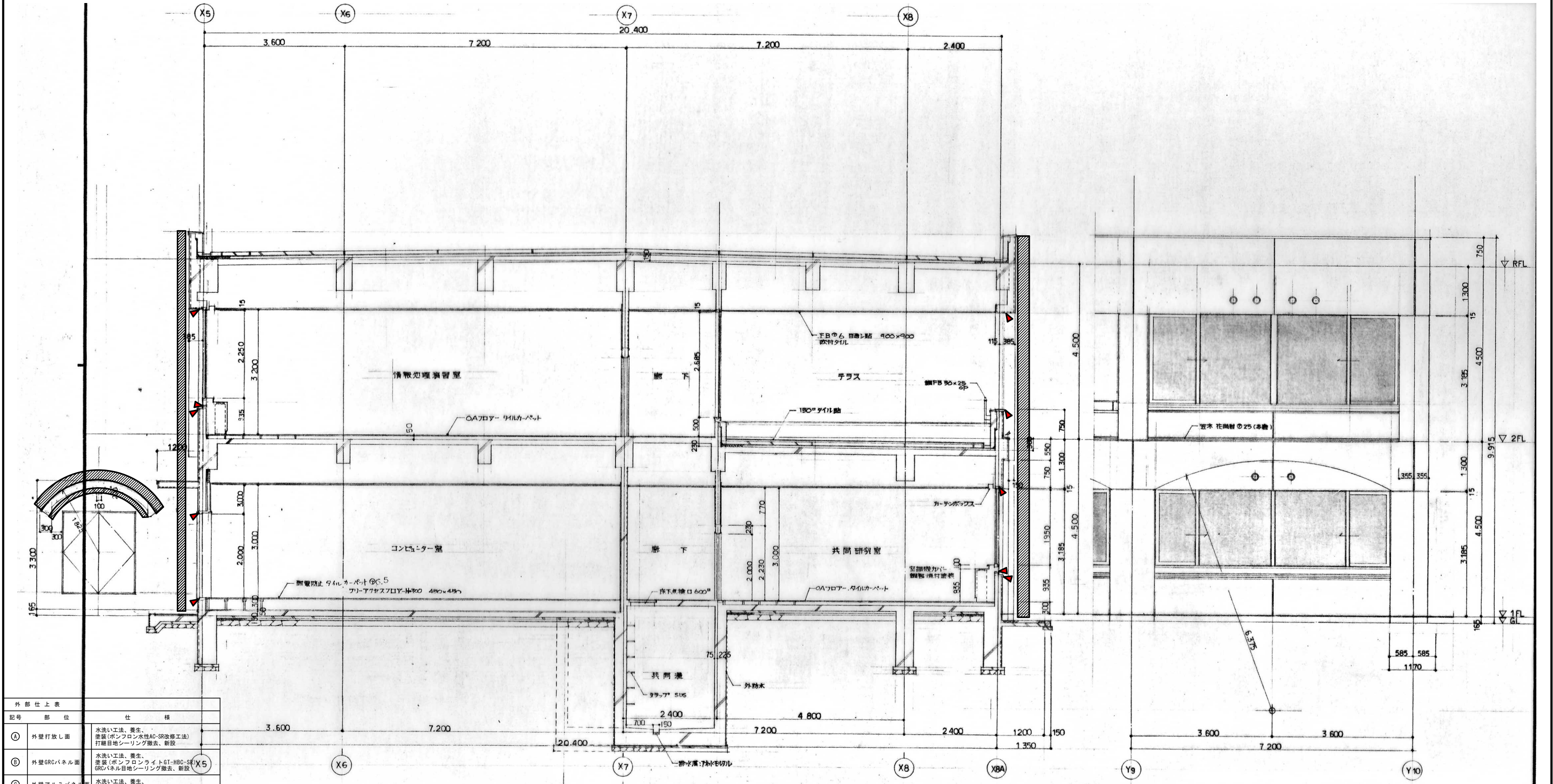
①図示した塗装工法は、参考工法とする。
②AW, ACW, AGは、施工後、清掃する。



外部仕上表	
記号	部位
A	外壁打放し面
B	外壁GRCパネル面
C	外壁アルミパネル面
D	天井ケイカル面
E	たて樋
F	外部階段手摺
G	筋谷石
H	ACW
	その他
外壁改修工法(参考工法)	
RC打放し部ひび割れ処理	
GRCパネルひび割れ処理	
工事着手前に請負業者は、外観目視・打診調査を行い監督員に報告する。報告書を元に、協議の上、施工方法を決定のこと。	

年度別	福井県立大学
29	
29年6月	

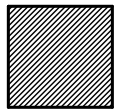
- ①図示した塗装工法は、参考工法とする。
②AW, ACW, AGは、施工後、清掃する。



外部仕上表	
記号	仕 様
A	外壁打放し面 水洗い工法、養生、 塗装（ボンフロンライトAC-SR改修工法） 打継目地シーリング撤去、新設
B	外壁GRCパネル面 水洗い工法、養生、 塗装（ボンフロンライトGT-HBC-SR） GRCパネル目地シーリング撤去、新設
C	外壁アルミパネル面 水洗い工法、養生、 塗装（ボンフロンライトGTHBM-50SR） アルミパネル目地シーリング撤去、新設
D	天井ケイカル面 塗装（NAD系塗料）
E	たて 樋 （鋼管垂れメッキ100φ） 塗装（ウレタン樹脂系塗料）
F	外部階段手摺 塗装（ボンフロンライトGT-HBC-SR）
G	筋谷石 筋谷石目地シーリング撤去、新設
H	ACW ACWガラス廻りシーリング撤去、新設
その他	サッシ、開口廻りシーリング撤去、新設 ガラス廻りシーリング撤去、新設 SD、SSD枠共塗装（ファインウレタンU100）
工事着手前に請負業者は、外観目視・打診調査を行い監督員に報告する。 報告書を元に、協議の上、施工方法を決定のこと。	

年度別	福 井 県 立 大 学
2 9	
2 9 年 6 月	

- ①図示した塗装工法は、参考工法とする。
②AW, ACW, AGIは、施工後、清掃する。



今回施工範囲



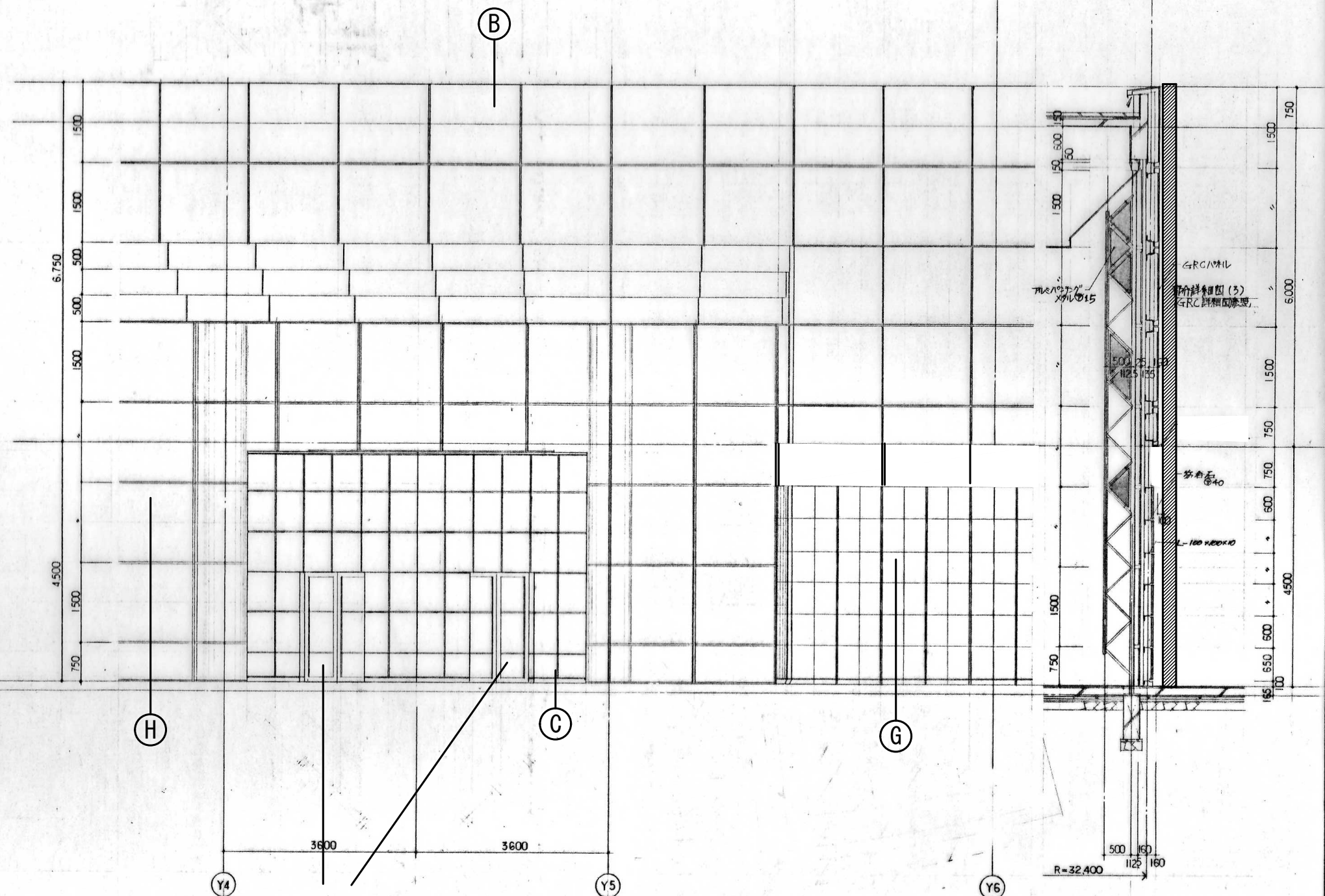
株式会社 木村建築事務所

1級建築士事務所 福井県（い）115号
管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一

工事名称 福井県立大学 永平寺キャンパス図書館棟 外壁改修工事

図面名称 矩計図 2 縮 尺

図面番号 A-14

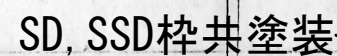


國陳望

SSD-1 枠共塗装 (ファインウレタンU100)

今回施工範囲

③○で囲んだSD、SSD上部のガラリは、【開口部廻りシーリング撤去、新設】を行う。



年度別	福井県立大				
29	分類	第一分類	第二分類	第三分類	審査
29年 6月					